

避難勧告等の判断・伝達マニュアル

平成22年3月

今 別 町

避難勧告等の判断・伝達マニュアル目次

第Ⅰ編 水 害

1. 対象とする災害及び警戒すべき区間・箇所…………… 1
2. 避難すべき区域…………… 2
(表 1) 避難すべき区域
3. 避難勧告等の発令の判断基準…………… 3
(表 2) 判断基準
(表 3) 区間ごとの発令対象地域
4. 避難勧告等の伝達方法…………… 4

(参 考) …………… 5
(表 4) 避難勧告等の標準的な意味合い
5. 避難勧告等の伝達内容の例…………… 6
(表 5) 避難勧告等の標準的な意味合い

第Ⅱ編 土砂災害

1. 対象とする災害及び警戒すべき区間・箇所…………… 7
2. 避難すべき区域…………… 8
(表 6) 避難すべき区域
3. 避難勧告等の発令の判断基準…………… 9
(表 7) 避難勧告等の発令判断基準
4. 避難勧告等の伝達方法…………… 9

第Ⅰ編 水 害

水害とは、水によっておこされる災害のことで、堤防を有さない河川等では、水位上昇に伴い河川水があふれ、徐々に浸水域、浸水深が増加する現象及び、堤防を有する河川で破堤した場合、相当量の氾濫水が流れ出すので、浸水深や浸水域も一気に増加する現象を「外水氾濫」という。

降雨量に対して小河川や下水道等の処理能力が追いつかない場合に発生する現象を「内水氾濫」という。

1. 対象とする災害及び警戒すべき区間・箇所

■ 今別川破堤・越水氾濫

1) 警戒すべき区間

- ・今別川村元地区及び八幡町地区から今別地区まで

2) 今別川の特性

- ・今別川大川平観測所における避難判断水位（3.0 m）は伝達及び避難時間を想定し、既往洪水における最大水位上昇量より算出している
- ・今別川上流に総雨量が176 mmを超えると下流水位が危険水位を上回るおそれがある

3) 施設の整備状況等

- ・今別川の村元地区及び八幡町地区から今別地区の堤防は整備済みである

4) 特に注意を要する区間

- ・原則として河川浸水想定区域で浸水が予想されている範囲とする

※今別町洪水ハザードマップ参照

- ・関口川の合流点から海に至る場所を重要水防箇所とする

■ 内水氾濫等

1) 警戒すべき区間

- ・八幡町地区及び大川平地区

2) 内水氾濫等の特性

- ・豪雨時等による地表水の増加に排水が追いつかず、道路側溝、用排水溝などが氾濫したり、河川が増水し水位が上昇することにより、河川の自然な排水が困難となり、堤内地の用排水溝などが溢れて氾濫するもの。

2. 避難すべき区域

避難勧告等の対象となる「避難すべき区域」は（表１）のとおりであるが、運用にあたっては、次の事項に留意する。

- ・重要な情報については、情報を発表した気象官署、河川管理者等に対して相互に情報交換すること。
- ・「避難すべき区域」は、過去の浸水実績や浸水想定などを踏まえて作成したもので、想定を上回る降雨の発生など不測の事態等も想定されることから、事態の進行・状況に応じた、避難勧告等の発令区域を適切に判断すること。
- ・「避難すべき区域」作成の際に参考とした浸水想定区域図は、一定規模の外力等を想定して作成されており、想定を上回る水害が発生する可能性があることや、細かい地形が反映されていないことに留意すること。

（表１）避難すべき区域

■ 今別川破堤・越水氾濫

避難区域	対象地区	災害の様相	備考
想定浸水深 50cm程度以上	(右岸) 村元地区 (左岸) 八幡町・今別地区	床上浸水	

■ 内水氾濫等

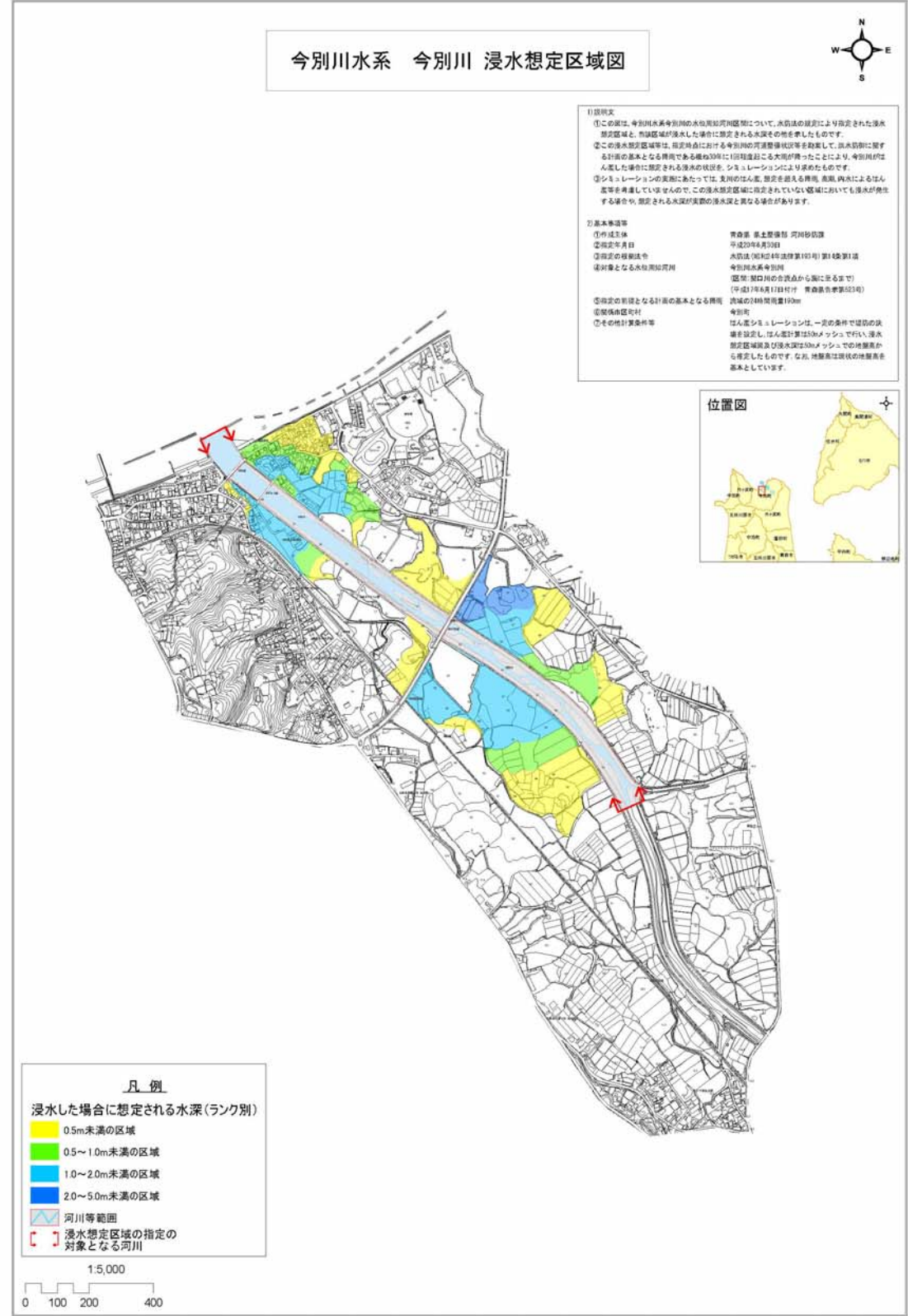
避難区域	対象地区	災害の様相	備考
想定浸水深 50cm程度以上	八幡町地区 大川平地区	床上浸水	

図) 避難すべき区域（水害）

- ・警戒すべき区域（水害）と同じ。

〈留意事項〉

- ・浸水深が、50cmを上回る（膝上まで浸水が来ている）場所での避難行動は危険である。
- ・流速が早い場合は、20cm程度でも歩行不可能である。
- ・用水路等への転落のおそれのある場所では、道路上10cm程度でも危険である。



3. 避難勧告等の発令の判断基準

- * 避難勧告等の発令の判断基準は（表2）のとおりであるが、この運用にあたっては、次の事項に留意する。
- ・重要な情報については、情報を発表した気象官署、河川管理者等と、相互に情報交換すること。
- ・想定を超える規模の災害が発生することや、想定外の事象が発生することもあることから、関係機関との情報交換を密に行いつつ、河川の上流部でどのような状態になっているか、暴風域はどのあたりまで接近しているか、近隣で災害が発生していないか等、広域的な状況把握に努めること。
- ・堤防の異常等、巡視等により自ら収集する現地情報、レーダ観測でとられた強い雨の地域、避難行動の難易度（夜間や暴風の中での避難）等、必ずしも数値等で明確にできないものも考慮しつつ、総合的な判断を行うこと。
- * 避難勧告等は、以下の基準を参考に、今後の気象予想や河川巡視等からの報告を含めて総合的に判断して発令する。

（表2）判断基準

■ 今別川破堤・越水氾濫

河 川 名	今別川 水位観測所 大川平地点
対 象 地 区	村元地区及び八幡町地区から今別地区
避難準備(要援護者避難) 情報	・ 水位観測所の水位が氾濫注意水位（2.6 m）に達し、更に水位の上昇が予想される場合 ・ 当町に洪水警報が発表した場合
避 難 勧 告	・ 水位観測所の水位が避難判断水位(3.0 m) に達した場合 ・ 河川管理施設の異常を確認した場合
避 難 指 示	・ 水位観測所の水位が氾濫危険水位相当（3.4 m）に到達した場合 ・ 河川管理施設の大規模異常、破堤を確認した場合

■ 内水氾濫等

対 象 地 区	八幡町地区、大川平地区
避難準備(要援護者避難) 情報	・ 避難を伴うような浸水、道路冠水になると予想される場合 ・ 大雨警報（浸水害）が発表された場合
避 難 勧 告	・ 安全のため早めの避難を促す場合 ・ 大雨警報（浸水害）が発表され、浸水被害になると予想される場合

(表 3) 区間ごとの発令対象地域

- ・避難勧告等を発令する主な区間ごとの対象地域を以下に示す。

対 象 地 域		水位の上昇		各区間の河川施設の状況	
		今別川水位観測所		今別川左岸 八幡町地区～ 今別地地区	今別川右岸 村元地区
		大川平地点			
	村元地区	○			○
	八幡町地区 ～今別地区	○		○	

4. 避難勧告等の伝達方法

- ・避難勧告等の伝達先・伝達方法

避難勧告等の伝達先・伝達方法は次のとおりとする。

なお、情報の伝達は、災害の状況等に応じた最善の方法により行うものとする。

(表 4) 避難勧告等の伝達先・伝達方法

伝 達 先		伝 達 方 法
(住 民)		
◇ 住 民 ◇ 自治会長 ◇ 自主防災組織代表者		・ 防災行政無線（同報系） ・ 広報車、防災車、消防車 ・ 町ホームページ ・ 電話、F A X
(災害時要援護者、福祉関係機関等)		
◇ 災害時要援護者の事前登録者 ◇ 町社会福祉協議会 ◇ 老人ホーム ◇ 保育所 ◇ 病院等		・ 電話、F A X、テレビ、ラジオ ・ 広報車、防災車、消防車
(防災関係機関等)		
◇ 警察署、消防署、消防団 ◇ 郵便局(株)、J R 今別駅		・ 電話、F A X

(参 考)

(表 5) 避難勧告等の標準的な意味合い

＊ 避難勧告等の標準的な意味合いについては、下表のとおりである。

	発令時の状況	住民に求める行動
避難準備 (要援護者避難) 情報	<ul style="list-style-type: none">要援護者等、特に避難行動に時間を要する者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況	<ul style="list-style-type: none">要援護者等、特に避難行動に時間を要する者は、計画された避難場所への避難行動を開始（避難支援者は支援行動を開始）上記以外の者は、家族等との連絡、非常持出品の用意等、避難準備を開始
避難勧告	<ul style="list-style-type: none">通常の避難行動ができる者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	<ul style="list-style-type: none">通常の避難行動ができる者は、計画された避難所等への避難行動を開始
避難指示	<ul style="list-style-type: none">前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断させた状況人的被害の発生した状況	<ul style="list-style-type: none">避難勧告等の発令後で避難中の住民は、確実な避難行動を直ちに完了未だ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移り、そのいとまがない場合は生命を守る最低限の行動をとる

5. 避難勧告等の伝達内容の例

1) 避難準備（要援護者避難）

○ 避難準備（要援護者避難）の伝達文(例)

こちらは、今別町（災害対策本部）です。ただ今、（避難すべき事由）ため、〇〇時〇〇分、〇〇地区に対し、避難準備情報を発令しました。お年寄りの方など避難に時間のかかる方は、直ちに（避難所の施設名）へ避難してください。その他の方は、避難の準備を始めてください。

2) 避難勧告

○ 避難勧告の伝達文(例)

こちらは、今別町（災害対策本部）です。ただ今、（避難すべき事由）ため、〇〇時〇〇分、〇〇地区に対し、避難勧告を発令しました。直ちに（避難所の施設名）へ避難してください。なお、（〇〇付近は冠水により通行ができない・山沿いや急傾斜地では土砂災害の危険がある）ので十分注意して避難してください。また、避難の際は、できるだけ近所の方にも声をかけてください。

3) 避難指示

○ 避難指示の伝達文(例)

こちらは、今別町（災害対策本部）です。ただ今、（避難すべき事由）ため、〇〇時〇〇分、〇〇地区に対し、避難指示を発令しました。大変危険な状態です。避難中の方は、直ちに（避難所の施設名）へ避難を完了してください。避難に十分な時間がない場合は、近くの安全な建物に避難してください。なお、（〇〇付近は冠水により通行ができない・山沿いや急傾斜地では土砂災害の危険がある）ので十分注意してください。

4) 避難すべき事由（例）

— 避難すべき事由（例） —

- ・ 〇〇川で危険水位に達した
- ・ 〇〇地区の〇〇川堤防が決壊した
- ・ 〇〇地区では土砂災害の危険性が非常に高まった
- ・ 近隣（〇〇地区）で土砂の移動現象が確認された
- ・ 近隣（〇〇地区）で重大な土砂災害前兆現象（山鳴り、流木の流出、斜面の亀裂）が確認された

第Ⅱ編 土砂災害

土砂災害とは、土石流（山腹が崩壊して生じた土石等又は溪流の土石等が水と一体となって流下する自然現象）、急傾斜地の崩壊（傾斜のある土地が崩落する自然現象）、又は地すべり（土地の一部が地下水等に起因して滑る自然現象）を発生原因として住民の生命又は身体に生ずる被害をいう。

1. 対象とする災害及び警戒すべき区間・箇所

今別町においては、土石流及び急傾斜地の崩壊による土砂災害に対して警戒する必要がある、原因となる自然現象とその被害が影響する区間・箇所等の範囲については、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」（以下「土砂災害防止法」という）に基づく土砂災害警戒区域等の指定がされている。

1) 土砂災害の発生のおそれのある溪流や斜面の数（土砂災害危険箇所の数）

- ・土石流危険溪流 31箇所
（うち土砂災害警戒区域指定あり 0箇所）
（うち土砂災害特別警戒区域指定あり 0箇所）
- ・急傾斜地崩壊危険箇所 39箇所
（うち土砂災害警戒区域指定あり 0箇所）
（うち土砂災害特別警戒区域指定あり 0箇所）
- ・地すべり危険箇所 5箇所
（うち土砂災害警戒区域指定あり 0箇所）
（うち土砂災害特別警戒区域指定あり 0箇所）

2) 土砂災害のおそれのある警戒すべき箇所の分布

- ・土石流危険溪流は及び急傾斜地崩壊危険箇所は町全体に点在している。
- ・町の海岸部には、地すべり危険箇所が多い。
- ・過去に発生した災害として、昭和54年に浜名地区でのがけ崩れがある。

3) 土砂災害の発生しやすい気象条件

- ・過去の災害実績では、総雨量120mmを超えたり、時間雨量40mmを超えると土砂災害が多発する傾向あり。
- ・融雪期には地すべりが多発する傾向あり。

図) 土砂災害に対して警戒すべき区域・箇所は別添図面のとおり。

- ・土砂災害危険箇所（土石流危険溪流、急傾斜地崩壊危険箇所、地すべり危険箇所）
- ・土砂災害警戒区域（イエローゾーン）
急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがある区域
- ・土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがある区域

2. 避難すべき区域

避難勧告の対象となる「避難すべき区域」は（表6）のとおりであるが、運用にあたっては、次の事項に留意する。

- ・重要な情報については、情報を発表した気象官署、砂防関係機関等との間で相互に情報交換すること。
- ・「避難すべき区域」は、過去の被害の実績や被害想定などを踏まえて特定したもので、自然現象のため不測の事態等も想定されることから、事態の進行・状況に応じた、避難勧告等の発令区域を適切に判断すること。
- ・「避難すべき区域」を特定する際に参考とした土砂災害警戒区域図等は、一定規模の外力等を想定して作成されており、想定を上回る災害が発生する可能性があることと、平均的な地盤高等を用いて計算されており、細かい地形が反映されていないことに留意すること。

（表6）避難すべき区域

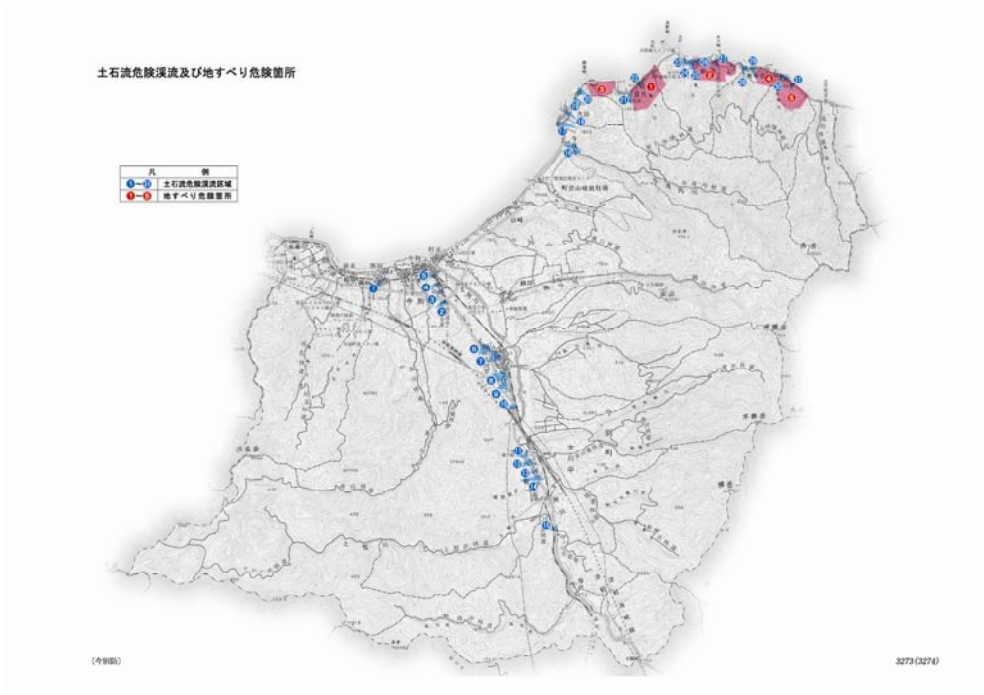
避難地域 （地区名）	避難勧告等の 発令単位	災 害 の 様 相	備 考
浜 名	二ツ石	がけ崩れ	
今 別	西田	土石流	
今 別	今別	がけ崩れ	
今 別	中沢	がけ崩れ 土石流	
大川平	村元	がけ崩れ 土石流	
大川平	熊沢	土石流	
二 股	深沢	がけ崩れ	
二 股	二股	がけ崩れ 土石流	
山 崎	山元	がけ崩れ	
大 泊	与茂内	がけ崩れ 土石流	
大 泊	上野	土石流	
大 泊	大村元	がけ崩れ 土石流 地すべり	
大 泊	鑄釜	がけ崩れ 土石流	
襲 月	襲村元	がけ崩れ 土石流 地すべり	
襲 月	村下	がけ崩れ	
砂ヶ森	砂村元	土石流 地すべり	
砂ヶ森	赤根沢	がけ崩れ 土石流	
奥平部	村元道添 奥平部	がけ崩れ 土石流	
奥平部	砥石	土石流 地すべり	

図）避難すべき区域（土砂災害）・警戒すべき区域（土砂災害）と同じ。

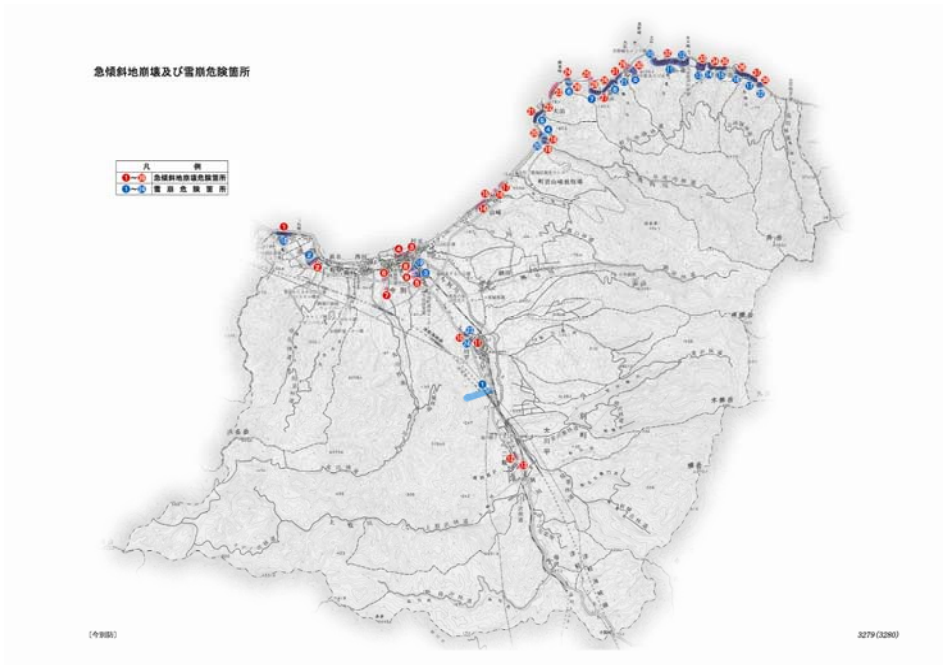
〈留意事項〉

- ・避難所へ避難する際は、他の土砂災害危険区域内の通過は避けること。土石流に関しては溪流に直角方向にできるだけ溪流から離れること。溪流を渡って対岸に避難することは避けること。
- ・避難所への避難が困難な場合には、生命を守る最低限の行動として、周囲の建物より比較的高い建物（鉄筋コンクリート等の堅固な構造物）の2階以上（斜面と反対側の部屋）に避難することを心がけること。

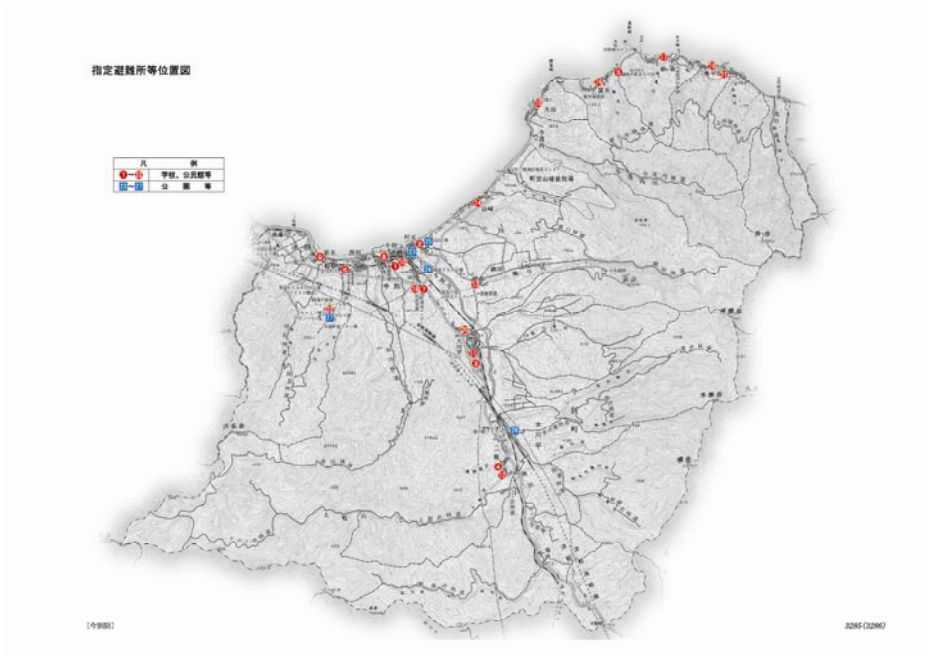
土石流危険渓流及び地すべり危険箇所



急傾斜地崩壊及び雪崩危険箇所



指定避難場所等位置図



3. 避難勧告等の発令の判断基準

避難勧告等の発令の判断基準は（表7）のとおりであるが、この運用にあたっては、次の事項に留意する。

- ・重要な情報については、情報を発表した気象官署、砂防関係機関等との間で相互に情報交換すること。
- ・避難勧告等を発令する区域を特定する際には、土砂災害警戒情報に係る5kmメッシュ毎の危険度判定等にも留意のこと。
- ・想定を超える規模の災害が発生することや、想定外の事象が発生することもあることから、関係機関との情報交換を密に行いつつ、暴風域はどのあたりまで接近しているか、近隣で災害や前兆現象が発生していないか等、広域的な状況把握に努めること。
- ・土砂災害の前兆現象等、巡視等により自ら収集する現地情報、レーダ観測でとられた強い雨の地域、避難行動の難易度（夜間や暴風の中での避難）等、必ずしも数値等で明確にできないものも考慮しつつ、総合的な判断を行うこと。

＊ 避難勧告等は、以下の基準を参考に、今後の気象予想や土砂災害危険箇所の巡視等からの報告を含めて総合的に判断して発令する。

（表7）避難勧告等の発令判断基準

対象地区	・避難すべき区域の全部
避難準備(要援護者避難)情報	・土砂災害警戒情報が発表された場合 ・近隣で前兆現象（流水の異常な濁り、斜面からの湧水の増加）が発見された場合
避難勧告	・近隣で前兆現象（溪流付近で斜面崩落、斜面のはらみ、擁壁・道路等にクラック発生）が発見された場合 ・土砂災害警戒情報が発表され、引き続き降雨が見込まれる場合
避難指示	・近隣で土砂災害が発生した場合 ・近隣で土砂移動現象、前兆現象（地鳴り・山鳴り、流木の流出、斜面の亀裂等）の発見された場合

4. 避難勧告等の伝達方法

風水害編 第4章 災害応急対策計画 第5節 非難 を参照

（資 料）

- ・防災関係機関等連絡先一覧（別途）
- ・自治会長、自主防災組織代表者連絡先一覧（別途）
- ・要援護者、福祉関係機関等連絡先一覧（別途）

資料 7 防災関係機関一覧

機 関 名	所 在 地	電 話 番 号	災害時における連絡の窓口
青 森 県 庁	〒030-0861 青森市長島 1-1-1	017-722-1111 (773-6820)	防災消防課 (災害緊急電話)
今 別 町 役 場	〒030-1502 今別町大字今別字今別167	0174-35-2001	総務課
青森地域広域消防 事務組合消防本部	〒030-0861 青森市長島 2-1-1	017-775-0854	警防課
外ヶ浜警察署	〒030-1302 外ヶ浜町大字中師字苗代沢 3	0174-22-2211	警備課
東青地域県民局地域 健康福祉部福祉総室	〒030-0801 青森市新町 2-4-30	017-734-9950~52	福祉調整課
東青地域県民局地域 健康福祉部保健総室	〒030-0911 青森市造道 3-25-1	017-741-8116	健康増進課
東青地域県民局 地域整備部	〒030-0943 青森市大字幸畑字唐崎76-4	017-728-0200	
東青地域県民局 地域農林水産部	〒030-0801 青森市新町 2-4-30	017-773-9960	
東青地域県民局地域農 林水産部普及指導室	〒030-0802 青森市中央 3-20-12	017-773-0361	
東青地方漁港漁場 整備事務所	〒030-0901 青森市港町 2-22-4	017-741-4451~2	
東青教育事務所	〒030-0801 青森市新町 2-4-30	017-741-5540	
東北森林管理局 青森森林管理署	〒038-8501 青森市柳川 2-1-1	017-781-2112	企画調整課
東 北 農 政 局	〒030-0820 青森市本町 2-10-4	017-775-2151	庶務課庶務係
青森海上保安部	〒030-0811 青森市青柳 1-1-2	017-734-2421	警備救難課
青森地方気象台	〒030-0966 青森市花園 1-17-19	017-741-7412	
青森海運支局	〒030-0811 青森市青柳 1-1-2	017-776-3070	管理課

東北総合通信局 八戸出張所	〒031-0831 八戸市築港街2-16	0178-33-2322	
青森労働局	〒030-8558 青森市新町2-4-25	017-734-4111	庶務課
青森公共職業安定所	〒030-0822 青森市中央2-101-10	017-776-1561	
東北地方整備局 青森河川国道事務所	〒030-0822 青森市中央3-20-38	017-734-4521	
JR東日本青森支店	〒030-8501 青森市青柳1-1-1	017-734-6732	
陸上自衛隊 青森駐屯部隊	〒038-0022 青森市大字浪館字近野45	017-781-0161	
東日本電信電話(株) 青森支店	〒030-0813 青森市松原1-14-18	017-774-9114	
日本赤十字社 青森県支部	〒030-0861 青森市長島1-3-11	017-722-2011	事業部
東北電力(株) 青森営業所	〒030-0802 青森市本町1-3-9	0120-175-366	
日本放送協会 青森放送局	〒030-8633 青森市松原2-1-1	017-774-5111	放送部
青森放送(株)	〒030-0965 青森市松森1-8-1	017-743-1234	報道部
(株)青森テレビ	〒030-8686 青森市松森1-4-8	017-741-2238	報道部
青森朝日放送(株)	〒031-0042 八戸市十三日町1	0178-47-2111	
東津軽郡医師会	〒030-1203 蓬田村大字郷沢字浜田140-5	0174-27-2011	
青森中央消防署 今別分署	〒030-1502 今別町大字今別字今別62-2	0174-35-2119	
JR北海道 今別管理室	〒030-1502 今別字中沢164-6	0174-35-3688	
東京航空局 青森航空出張所	〒030-0155 青森市大谷字小谷1-303	017-739-2240	
今別郵便局	〒030-1502 今別町大字今別字今別68-1	0174-35-2460	
袋月郵便局	〒030-1511 今別町大字袋月字袋村元44-1	0174-35-2330	

今別町商工会	〒030-1502 今別町大字今別字今別45-2	0174-35-2014	
青森農業協同組合 今別支店	〒030-1502 今別町大字今別字中沢23-25	0174-35-2003	
竜飛今別 漁業協同組合	〒030-1502 今別町大字今別字今別113-3	0174-35-2049	
竜飛今別 漁業協同組合	〒030-1514 今別町大字砂ヶ森字砂村元91	0174-36-2014	
今別町連合婦人会	〒030-1502 今別町大字今別字中沢275-166	0174-35-3064	会長
今別町赤十字奉仕団	〒030-1502 今別町大字今別字今別99-3	0174-35-2935	委員長 事務局役場
今別町 婦人防火クラブ	〒030-1505 今別町大字大川平字村元246-3	0174-35-3359	会長 事務局役場

今別町地区総代・町内会長名簿

平成 21年7月1日

番号	地区名	氏 名	住 所	電話番号
1	八幡町	田 中 良 光	今別町大字今別字今別 178	35 - 2046
2	新町	秋 元 哲	今別町大字今別字中沢 229-2	35 - 3050
3	後町・三階町	田 辺 春 作	今別町大字今別字今別 139-1	35 - 2551
4	新道・寺町	小 鹿 世 紀	今別町大字今別字今別 97-2	35 - 3903
5	中央団地	吹 田 修	今別町大字今別字西田 191	35 - 2067
6	西田	中 嶋 淳 悦	今別町大字今別字西田 258-416	35 - 3810
7	浜名	木 村 正 徳	今別町大字浜名字浜名 38-1	35 - 2657
8	大川平	相 内 利 男	今別町大字大川平字村元 99	35 - 2556
9	二股	相 内 文 雄	今別町大字大川平字二股 36-1	35 - 2662
10	鍋田	三 浦 孝 義	今別町大字山崎字山崎 176-11	35 - 3313
11	関口	高 橋 信 博	今別町大字鍋田字関口 97	35 - 2728
12	村元	宮 本 末 三	今別町大字今別字宮本 18-10	35 - 3481
13	山崎	太 田 昭 七	今別町大字山崎字山元 33-2	35 - 3623
14	大泊	吉 田 初 弘	今別町大字大泊字大村元 98-1	36 - 2316
15	褰月	稲葉 喜代治	今別町大字褰月字褰村元 43	36 - 2448
16	砂ヶ森	小 倉 正 久	今別町大字砂ヶ森字砂村元 14-2	36 - 2359
17	奥平部	横 岡 亘	今別町大字奥平部字砥石 53-81	36 - 2443

今別町民生委員児童委員名簿

平成19年12月1日現在

No.	新 再	担 当 地 区 名	[事務所担当] 氏 名	住 所	電 話
1	新	今別1区 (八幡町)	[横山] 米田 憲 一	今別町大字今別字中沢 23-14	35-2774
2	新	今別2区 (新町・逗子・新道・寺町)	[横山] 澤田 至	今別町大字今別字今別 20-3	35-2030
3	新	今別3区 (後町・三階町・団地)	[横山] 澤田 い つ	今別町大字今別字西田178-1	35-3600
4	新	今別4区 (西田)	[横山] 嶋中 文 子	今別町大字今別字西田245-2	35-3761
5	新	浜 名	[横山] 新井田 優 子	今別町大字浜名字浜名25-2	35-2270
6	再	大川平 (下町)	[横山] 嶋中 美保子	今別町大字大川平字村元135-61	35-2463
7	再	大川平 (上町)	[横山] 嶋中 俊 次	今別町大字大川平字村元247-5	35-3165
8	新	二 股	[横山] 相内 久 江	今別町大字大川平字与次郎沢1-5	35-2389
9	再	鍋田・関口	[横山] 山崎 幸 江	今別町大字鍋田字関口119-2	35-3317
10	新	村 元	[横山] 石岡 多江子	今別町大字村元字一村元41-1	35-3332
11	元	山 崎	[横山] 中島 妙 子	今別町大字山崎字山崎31-2	35-2635
12	新	大 泊	[横山] 吉田 す ゑ	今別町大字大泊字大村元59-1	36-2008
13	新	褒 月	[横山] 伊藤 勝 徳	今別町大字褒月字褒村元64	36-2006
14	再	砂ヶ森	[横山] 川口 明 徳	今別町大字砂ヶ森字砂村元88	36-2364
15	元	奥平部・綱不知	[横山] 田中 ミ 子	今別町奥平部字砥石45-1	36-2329
16	再	主任児童委員	山内 和 子	今別町大字今別字中沢275-872	35-3064
17	新	主任児童委員	鈴木 淑 子	今別町大字今別字今別106-4	35-2352

任期：平成19年12月1日から平成22年11月30日まで